

第102回大阪皮膚科医会例会・学術講演会

プログラム

テーマ

皮膚科医も知っておきたいレーザー治療

講師

葛西形成外科 葛西健一郎先生

日時：2025年9月27日(土) 午後3時40分開場

会場：TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前
4階4A+4Bルーム(大阪市北区)

【 会場ご案内図 】



共催 大阪皮膚科医会
サイノシュアー・ルートロニック株式会社

プログラム

15:40	開場
16:00－16:20	医会連絡会
16:20－16:30	「保険診療におけるレーザー治療」 (杉原副会長)
16:30－16:45	製品説明 (サイノシュアー・ルートロニック株式会社)
16:45－18:15	講演（葛西先生）
18:15－18:25	休憩
18:25－19:30	質疑応答
19:30－	情報交換会

企画主任より

「私はここで指摘したい。彼らの無能力は現実的で決定的なのだ。われわれの社会はさまよっている。我々の社会は多面的な情報によってますます侵され攪乱されている。（一中略）

現在のままの道をたどるかぎり、ひとはもはやゆたかさを期待することができない。だが、もし道具が言葉の解放者になるならば、根底的に新しい意味でのゆたかさへの道はたしかにみいだされるのだ」—ジャック・アタリ著 「情報とエネルギーの人間科学」より。

開業しレーザー治療について本腰をいれて勉強し始めたころ、僕は混乱していました。ある先生はこれが肝斑で、これがシミ。これがADMといていたものが、また別の先生にかければ違う基準で説明されている（どーみても同じに見える・・・）。このシミには2回重ねてうつといいとか、これは波長をかえて1か月おいてからまたうつとか・・・Qスイッチがいい、ロングパルスがいい、色素レーザーもいいよ・・・

さらに機械屋さんの提灯講演を聞いてしまうとまた別の意見がでてきて、何が良くて何が悪いかさえはっきりわからない、まさしく五里霧中状態でした。

そんな悩める子羊であった僕を、葛西先生はまるで真っ暗闇の海に光る灯台のように、道を指し示してくれました。基準となる航路がわかれば、迷うことはありません。また基準があるから、それがいいのか、悪いのかも判断できます。

無駄をそぎ落とした核心をつく論は、先生がどれだけ経験され、考え抜かれて得た結論であるか感得されます。

正しい診断をおこない、正しい道具（レーザーやその他のデバイス、薬剤など）を使うことで、当然の結果を引き出す。道具（の効果）が言葉（診断）を解放する瞬間を経験ください。

企画主任：岸田 大 講演座長：持田 和伸

皮膚科医も知っておきたいレーザー治療

葛西形成外科

葛西 健一郎

抄録：

今から33年前、私が開業して大阪皮膚科医会に加えていただいたころは、レーザーを使う先生はほとんど居なかったように思います。それが現在では、レーザーは皮膚科開業には必須のアイテムと考えられるようになっていきます。たいへんな時代の変化です。

そもそも私は、難治性のアザ治療の手段としてレーザーが有望であると考え、積極的に利用して来ました。当時は治療困難であった太田母斑が、現在ではレーザーを用いて完璧に治せるようになった歴史に参加することができたことは、本当に大きな喜びです。しかし、まだまだ完治困難なアザも多く、日々歯がゆい思いをしています。その後、患者さんのニーズが非常に多い「シミの治療」を研究するようになりました。シミは「老人性色素斑」「ADM」「雀卵斑」「PIH」「肝斑」の5種類に分類され、それを適切に鑑別して最適の治療を加えれば、すべて治療可能であるという理論を構築いたしました。本日は、その概要をお話いたします。

現在は美容ブームで「美容皮膚科」が大変な隆盛です。美容皮膚科の施術の中心的役割を担っているのが、レーザーを中心とする「エネルギーデバイス」です。皮膚にエネルギーを加える器具装置くらいの意味です。当初は、皮膚の異常構造物を破壊する高出力の機械が中心でしたが、現在では、日常生活に支障のない（腫れやキズのできない）ノーダウンタイム施術が主流になってきています。現在の「流行り施術」を概説します。ただ、こうした施術は客観的な改善効果に乏しく、患者の主観的満足がすべてという面が強くなりますから「だまし」の介在する余地が増えて、大きな社会的問題になっています。「直美」（大学医局に入らずに直接美容チェーンに就職する若い医者）が話題になっていますが、知識・技能の貧弱な即席勤務医がマニュアル通り動いているだけの美容皮膚施術が横行している現実を知ってください。

【学歴・職歴】

1980年 東京学芸大附属高校卒業
1986年 京都大学医学部卒業
1986年 京都大学医学部附属病院形成外科
1987年 関西医科大学形成外科学教室
1992年 大阪市内「葛西形成外科」開業
現在に至る。

著 書：シミの治療 初版・第2版（2006・2015）
炭酸ガスレーザー治療入門 初版・第2版（2008・2021）
Qスイッチルビーレーザー治療入門（2008）
ピコ秒レーザー治療入門（2017）
医療レーザー脱毛入門（2021）
パルス色素レーザー治療スプリーム（2024）
シミの診断（2025）

所属学会：日本形成外科学会 専門医
日本皮膚科学会
日本レーザー医学会 評議員・専門医・指導医

趣 味：囲碁（アマ八段）

企画チーム：岸田 大、持田 和伸
会 長：持田 和伸

大阪皮膚科医会事務局 〒532-0003
大阪市淀川区宮原4-1-4 KDX新大阪ビル4階
関西共同印刷所営業1課内 日下 敦 宛て
T E L 06-6453-3651



今例会はオンラインでも視聴していただけます。
事前登録が必要ですので、ご希望の方はタブレット／スマートフォンは
こちらの二次元バーコードをカメラで読み取って頂くか、
下記URLから事前登録をしてください。

【登録リンク】 [https://us06web.zoom.us/webinar/register/
WN_esoEdEZtQU-9b01j80Mhfw](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_esoEdEZtQU-9b01j80Mhfw)

【ウェビナーID】 882 0637 1812

【パスコード】 194026